

IV 施策展開の方向性

将来像の実現に向け、基本理念の考え方に基づき、施策・事業を次の方向性で進めます。

施策展開の方向性	戦略
1 人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ豊かなまちへ	(1) 地域におけるつながりを通じたまちづくり
	(2) 区民が生き活きと活躍している魅力あるまちづくり
2 地域で支えあう安全で安心なまちへ	(1) 自助・共助を基本とした災害に強いまちづくり
	(2) 犯罪の少ない安全で安心なまちづくり
3 安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く子どもを育むまちへ	(1) 子育て世帯が安心して、生み育て、働くことができるまちづくり
	(2) 子どもたちの可能性を育むまちづくり
4 地域が支えあい、住み慣れた場所で安心して暮らせるまちへ	(1) 高齢者、障がい者、子どもを地域が互いに見守り、支えあうまちづくり
	(2) 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるまちづくり
	(3) 必要な時に必要な支援が受けられるまちづくり

Ⅳ 施策展開の方向性 ～ SDGsを意識した区政運営 ～

SDGs（エスディー・ジー・ズ）（※）とは、「持続可能な開発目標」という意味であり、2030年までに達成すべき、開発が進んだ国もまだ途中の国も、国も地方も、会社も学校も、大人も子どもも、あらゆる垣根を超えて協力し、より良い未来をつくろうと国際連合で決まった17の目標（ゴール）です。

城東区では、めざすべき将来像である「住んでよかったと思えるまち」の実現をめざし、地域社会の課題を解決し、運営を持続できるよう、「城東区SDGs行動指針」に基づき、SDGsを意識した区政運営に取り組んでまいります。



城東区×SDGs

※SDGs…Sustainable Development Goalsの略。「誰一人取り残さない（leave no one behind）」持続可能な社会の実現をめざす世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。

城東区SDGs行動指針

城東区役所では、「住んでよかったと思えるまち」の実現を進めるにあたり、3つの理念「温かいまち」「住民主体のまち」「安心なまち」を定め、SDGsに取り組んでいるところです。

2025年大阪・関西万博は、2030年のSDGsの達成にとどまらず、その先に向けた姿が示されることも期待されています。

こうした潮流を的確に捉え、地域社会の持続可能性を高めていくため、区民の皆さまへのSDGsの浸透を図るなど、SDGsの取組みをさらに進めてまいります。

令和3年2月1日
城東区長 大東 辰起





Ⅳ－１ 【施策展開の方向性】 人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ 豊かなまちへ

めざす姿

- ・さまざまな活動主体が互いに連携して活動し、コミュニティが豊かになっている

成果目標

住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じる区民の割合 70%

戦略

(1) 地域におけるつながりを通じたまちづくり

(めざす状態)

- ・地域においてさまざまな活動主体が、連携を進めることで、地域課題の解決に向けた取組みが自律的に進められている状態

(2) 区民が生き生きと活躍している魅力あるまちづくり

(めざす状態)

- ・多くの区民の皆さんが、区民主体のさまざまなまちづくりに関連する事業または企画に参加し、区民の活躍で魅力あるまちづくりが進む状態
- ・人権が尊重され区民ひとりひとりが尊重しあう状態



人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ
豊かなまちへ

具体的な取組み（例）

- ① 区役所・中間支援組織（まちづくりセンター）による地域活動協議会の自律運営に向けた支援
- ② 各種まちづくりの担い手との協働・支援による区民全体の魅力あるまちづくりが進む環境づくり

【イメージ図】

